

香川県漆芸研究所修了作品展

漆と麻布で自由な形をつくる



乾漆展

Kanshitsu

乾漆蒔醤「リンゴ」/三好克典

乾漆とは、木または石膏などの原型に漆で麻布を貼り重ねた後、型から外したもので、自由に形を作ることができ丈夫な素地という特徴があります。

奈良時代に唐から日本へ伝わり、この技法を使って仏像が盛んに作られました。

現在は仏像に限らず、様々な表現の作品が生まれています。

2025 11月29日(土) ▶ 2026 1月18日(日) ※12月29日～1月3日休館 観覧料 無料
会場 香川県文化会館 1階香川漆芸ホール(高松市番町一丁目10番32号)
時間 9:00～17:00 主催 香川県漆芸研究所 ☎087-831-1814



香川県漆芸研究所修了作品展 **乾漆展**～漆と麻布で自由な形をつくる～ 〈展示品一覧表〉
会期: 令和7年11月29日(土)～令和8年1月18日(日)

作品名	作者名	制作年度
彫漆組香合「亀甲紋・唐草紋・大蔓穂・菊割紋」	ちょうしつくみこうごう「きっこうもん・からくさもん・おおつるぼ・きくわりもん」	若槻 万里奈
乾漆蒔醤オブジェ「宝物家電」	かんしつきんまおぶじえ「たからものかでん」	わかつき まりな
乾漆蒔醤像「僕らはまだこの世界をほんの少し知っているに過ぎない2.0」	かんしつきんまぞう「ぼくらはまだこのせかいをほんのすこし知っているに過ぎない2.0」	やまだ しょうへい
彫漆箱「うつろい」	ちょうしつばこ「うつろい」	福場 友美子
乾漆蒔醤レクラン(l'ecrin旅鏡台)「秘密」	かんしつきんまれくらん(れくらんたびきょうだい)「ひみつ」	ふくば ゆみこ
蒔醤オブジェ「螺旋型宇宙船」	きんまおぶじえ「らせんがたうちゅうせん」	野殿 英恵
乾漆彫漆卵「卵、、」	かんしつちやうしつたまご「たまご、、」	のどの はなえ
乾漆存清箱・乾漆存清面「装う」	かんしつぞんせいはいこ・かんしつぞんせいめん「よそおう」	篠原 今日子
存清水差「融」	ぞんせいみずさし「ゆう」	しのはら きょうこ
彫漆花器「孔雀」	ちょうしつかき「くじゃく」	谷本 晶
乾漆蒔醤「リンゴ」	かんしつきんま「りんご」	たにもと あきら
彫漆箱「ほっこり仙人」	ちょうしつはこ「ほっこりせんんにん」	久保 勇貴
乾漆存清箱「陽射しの中で」	かんしつぞんせいはいこ「ひざしのなかで」	くぼ ゆうき
乾漆存清盛器「凌霄花」	かんしつぞんせいもりき「のうぜんかずら」	竹森 滉
乾漆盛器「海」	かんしつもりき「うみ」	たけもり あきら
乾漆蒔醤盛器「早春」	かんしつきんまもりき「そうしゆん」	岡本 萌子
		おかもと もえこ
		平尾 和司
		ひらお かずし
		三好 克典
		みよし かつのり
		大塚 友野
		おおつか ゆうの
		桐原 絵梨子
		きりはら えりこ
		吉田 泰代
		よしだ やすよ
		中村 智美
		なかむら さとみ
		横井 千鶴
		よこい ちづる

【工程見本】

素地工程見本(乾漆)51工程 干菓子盆 12個	そじこうていみほん(かんしつ)51こうていひがしほん 12こ	竹内 幸司	たけうち こうじ	昭和51
----------------------------	--------------------------------	-------	----------	------

*すべて香川県漆芸研究所の所蔵品です。

同時開催 人間国宝作品 特別展示

- 音丸 耕堂『彫漆延齡草菓子器』
- 磯井 如真『乾漆水盤遊魚之図』

写真撮影OK

香川県漆芸研究所

〒760-0017 香川県高松市番町一丁目10番39号
TEL : 087-831-1814 FAX : 087-831-1807
E-mail : shitsugei@pref.kagawa.lg.jp
<https://www.pref.kagawa.lg.jp/sitsugei/>



※当館に駐車場はありませんので、近くの公共・民間駐車場をご利用ください。

